



社会福祉法人 恩賜財団

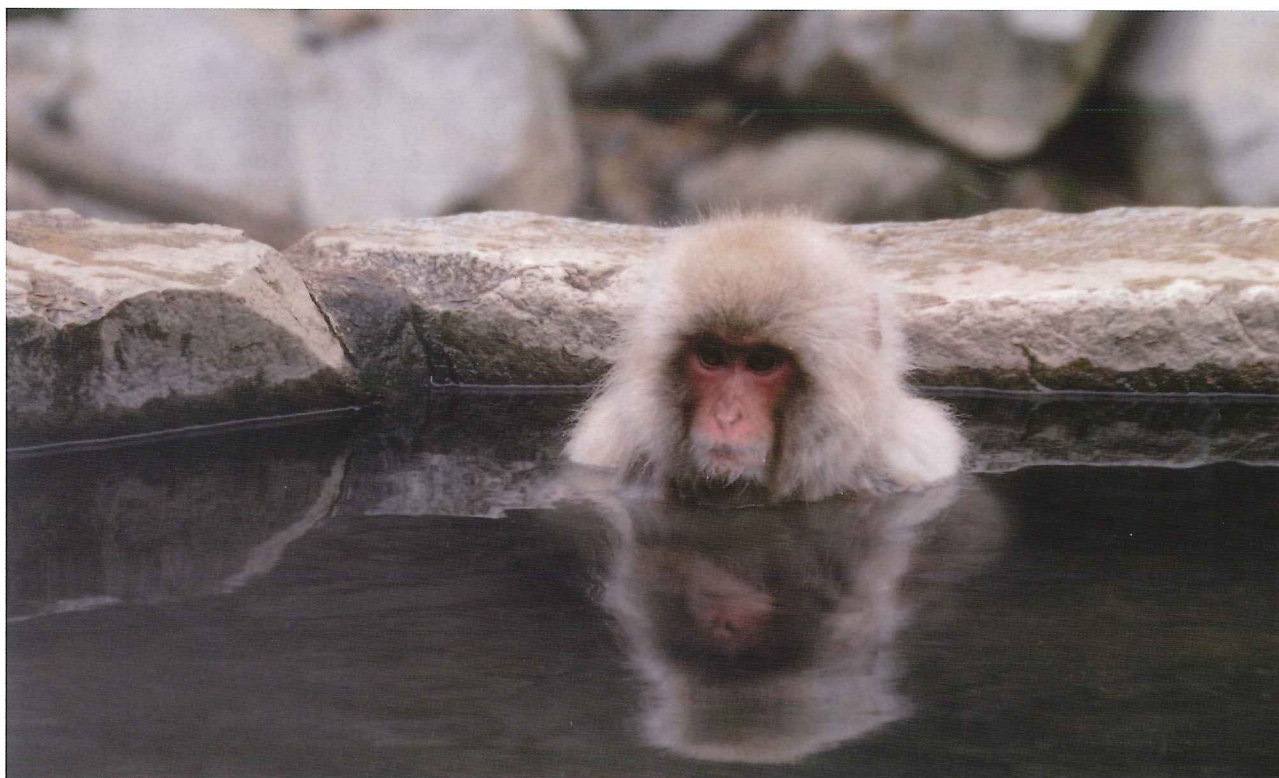
東京都同胞援護会

TOKYOTO DOHO ENGOKAI

同援だより

2016年 新春号(176号)

<http://www.doen.jp/>



新年のご挨拶

理事長 牧 野 洋 一



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健勝を心より

お喜び申し上げます。

本年も法人・施設の運営に当たり格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お願い申し上げます。

おかげさまで、昨年も、当法人の経営する施設においては、格別の事故もなく、利用者の皆様方に満足いただけるサービスを提供することができたことと思います。これも、役職員・丸となつて取り組んだ結果であり、また、日ごろからの皆様方のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。次第です。

昨年、国会に提出された「社会福祉法改正案」は継続審議になつておりますが、近いうちにこの法案が成立するものと思われまします。①評議員会を議決機関とすること②会計監査人を必置③地域における公益的な取り組みの実施などが規定され、社会福祉法人制度は大きく変わろうとしております。我が法人においても、こうした制度改革への対応にしっかり取り組んでいく所存です。

今年は、立川福祉作業所の改築が終了し、新設の「同援はいじま保育園」も四月に開園する予定です。また、サービス付き高齢者向け住宅や小規模多機能居宅介護サービスなどを併設する「(仮称)昭和郷高齢者複合施設」の建設も始まります。更には、昨年から実施している「学習支援」に加えて、新たな地域貢献活動にも取り組む予定です。

今年も引き続き利用者の皆様に良質なサービスの提供に努めるとともに、地域の皆様に喜ばれる社会福祉法人を目指して一層努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

退任挨拶



昭島病院
前事務長

長沼 君夫

十月三十一日をもって昭島病院を退職いたしました。

昭島病院に事務長として七年七ヶ月、都庁時代の病院勤務を通算すると、病院の勤務が概ね十ヶ年になり、そろそろ引退の時期かなと考えていたところです。

昭島病院にお世話になる時、理事長からの指示は「施設と良好な関係を確立してほしい」ということでした。

私も、東京都福祉保健局の経験から、病院と施設との良好な関係が「住民サービス」の第一歩で、このことは身に沁みこんでいると自負していました。が、実際、昭島病院の運営に携わってみると、経営的な面やスタッフの確保・意識改革等もあり、「理想通り運営できなかったな」

と自己の力不足を反省しています。

一方、同胞援護会は、規模やスタッフの点から、社会福祉法人の牽引車として今後とも担っていかねければならないし、またそれだけの組織力も十分備えていると思います。そのためには、病院も含めた法人一体となった運営が一層必要になってきます。その第一歩として、制度的な問題もありますが、共通職種の病院・施設間の職員異動から始めては…。

最後になりますが、同胞援護会および職員皆様の益々の発展、ご活躍を祈っています。長い間本当にお世話になりました。



就任挨拶



昭島病院
事務長

山川 浩一

昭島病院事務長に十一月一日付けで着任いたしました。

私は、同援に入職して今年で三十三年になります。障害者支援施設の仕事が長く、施設長も含めて通算二十六年あまり勤務して参りました。

就労支援などという言葉がないころから、障害があっても地域で暮らすべきという考えで、施設利用者を地域生活に移行するサポートを他のスタッフと共にしてきました。

その後、企画部長を約七年、この度昭島病院に出向となりました。

この十数年、福祉や医療を取り巻く環境が厳しさを増し続けています。日本の景気は先行き不透明であり、超高齢化と子供を産む世代の減少による人口構成の歪さなど

から、社会保障費の上昇を抑制しなければならいとされています。

私は病院経営について全くの素人ですが、このように福祉や医療を取り巻く環境が厳しい今こそ地域にある社会資源同士がさらに連携し合えることが重要ではないかと考えます。

また、患者様の満足度・職員の満足（充実感）を高めて行くことが、地域の中で選ばれる病院（施設）として必要なことと考えています。

当たり前すぎるかもしれませんが、「今よりさらに『患者様が気持ち良く帰っていただける病院』をめざす」これを胸の内に抱きながら裏方として働く所存です。

昭島病院は、昭島市の東、昭和記念公園の近くにあります。昭島病院のほか老人ホームや保育園など同援の施設が十二施設隣接し、総称して昭和郷と呼ばれています。

着任して三日目、昭和郷フェスティバルというお祭りが晴天のもと行われ、多くの来場者で賑わいました。

昭島病院は野菜などを売る店を出しました。私も他の職員と来場者に向かつて「カボチャいかがですかあ」とやっているところ「あれー、久しぶり」と二十年以上前に障害者

支援施設を退所して地域で暮らしている元利用者が声をかけてくれました。病院の近所に住んでいるとのこと、ちょっといい気分がエネルギーをもらいました。

最後になりますが、この度与えられた仕事をすることで皆様のご指導ご助言を賜りたく、引き続きよろしくお願い申し上げます。



企画部
企画部長
神田 祐一

十一月一日付で企画部長を命ぜられました。今、社会福祉が大きな変革期を迎えています。法人の財産や資金の管理が企画部長の主な仕事になります。「社会福祉法人が果たすべき役割は何か」や「イコールフットイング」などさまざまな言葉が飛び交う中であって、その責務の重さを痛感しております。

昭和六十年四月原町ホーム開設と同時に採用され、介護職員にはじまり、その後、相談員や施設長を経験させていただきながら三十年

と七ヶ月、介護現場と向き合っていました。福祉を取り巻く環境は変化の連続でした。そして、その対応に追われる日々を送ってまいりましたが、利用される方々に対する職員の想いは変わってはいないと感じています。

今も昔も福祉の現場に必要なものは、共に働く仲間であり「人材」です。福祉人材の安定的な確保のためにも、福祉現場の魅力を発信し続けてゆかなくてはなりません。さらに福祉現場で働く職員に「処遇に満足している」と実感していただけることがなによりも大切です。このためにも経営の透明性を更に高め、スケールメリットを活かした健全経営が私に課せられた職務であると感じています。

人望の厚い前山川企画部長のようにはなかなかまいりませんが、理事長はじめ常務理事や法人の皆様のご期待に応えられるよう精一杯邁進して参りますので宜しくお願い申し上げます。



ニューフジホーム
施設長
浅見 文隆

十一月一日付でニューフジホームの施設長に任命されました。十二年ぶりに勤務地である東中神駅に降り立ち、責任の重さを自覚し、身が引き締まりました。

ニューフジホームは私が高齢者介護の世界へ踏み出した第一歩目の職場でもあります。

出勤初日、利用者の方の名簿の中に当時からの名前を見つけ懐かしさ、そして張りつめていた緊張が少し和らぎました。また、たくさん経験や思いを共有して働いた同僚を見かけ心強さと気恥ずかしさを覚えました。

出勤三日目には昭和郷フェスティバルがあり、郷内外の交流を目的としたこの行事に以前と変わらず多くの方が来場されている光景を目にし、昭和郷は地域に根付き愛されていることを再確認しました。

ニューフジホームを離れてから東村山、新宿区と全く違った地域、環境で勤務する中、何処においても利

用者の方、ご家族の方、地域の方に支えていただきました。この昭和郷においても地域に認められ、必要とされる施設であり続けられるよう気持ちを新たにしたいです。

現在、日本の市区町村において「地域包括ケア」の取り組みがなされています。ニューフジホームは、この地域包括ケアを支えていく拠点としての機能と役割を十分に果たしていきたいと考えています。また、施設内においては、利用者の方の暮らしの瞬間瞬間がもつと輝いていられるよう高齢の親を持つ二人の間として全力で支援させていただきます。

私は常日頃、利用者の方との出会いはかけがえのないものであると考えております。「いつまでも自分らしく生きたい。」そんな当たり前の気持ちに込められるように全職員一丸となつて日々努力していきたいと思っております。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



さいわい福祉センター

主任生活支援員 内田 憲

九月五日～九月十九日にかけて公益財団法人 社会福祉振興・試験センターが行う民間社会福祉施設職員等海外研修・調査に参加してきました。研修先はスウェーデン、デンマーク、フィンランドの北欧三ヶ国で、「福祉先進国」と呼ばれるスウェーデンやデンマークの福祉施策及び施設サービスを学ぶことが目的でした。研修の話をいただいた際に正直不安もありましたが、障がい者福祉が日本と比べ、どれほど進んでいるのかを確認したかったこと、また北欧諸国の異文化にも触れられる良い機会でもあると考え、今回の研修に参加すること



を決めました。

現地では日中活動の場であるデイアクティビティセンターを中心に障がい者の働くレストランや重度の心身障がい者が暮らすグループホーム、自立した生活をサポートする生活トレーニングホーム、療育機関のような働きをもつハビリテーションセンター、ハンディキャップの部分を補助器具で補うことでよりよい日常生活が送れるようサポートする補助器具センターなど計十三施設を視察してきました。

実際に各施設を視察しながら感じたこと、それは本人の意思を尊重する支援と居住環境（設備）の充実でした。福祉先進国と呼ばれる北欧諸国と日本の間には歴史や文化、社会を取り巻く環境の違いはあっても、



利用者支援に対する基本的な考え方は同様であり、日中活動の内容そのものは日本との違いをそれほど感じることはありませんでした。むしろ障がい者の就労に対する考え方や支援は日本の方がよりきめ細かく、進んでいるとさえ感じました。しかし、

自分の人生は自分が決めるという当たり前のことが日本では家族や支援者側の都合で物事を進めてしまう傾向があるように思われます。経済的な状態を問わず障がいがあっても健常者と同じ生活を国が保障しているスウェーデンやデンマークでは、サービスを受ける側と提供する側の双方に『自己選択・自己決定』の意識が根底にあり、それが現場の中でしっかりと反映されているのを強く感じました。

視察先のグループホームでは、五人の重い障がいを持った方が生活していましたが、食事は支援スタッフが買い物から調理まで本人の意向やライフスタイルに合わせて個別に対応しており、本人の意思を尊重する支援が垣間見れたように思われました。

そして、設備面についても日本では考えられない活動場所（部屋）の広さや天井に設置された移乗用のリフトの数、介助者のことも考えられた回転式の電動ベッドや最新の補助器具などなど、『さすが福祉先進国！』という

所も多く見られました。

今回、十五日間に及ぶ海外研修という貴重な機会をいただき、視察を通して北欧諸国の福祉に対する取り組みを実際に肌で感じ、また日本各地から参加された福祉の現場で活躍されている人たちとの出会い、交流が深められたことは私にとって大変有意義な時間でしたし、貴重な財産となりました。

最後になりますが、このような研修の機会を与えていただいた法人、そして気持ち良く送り出してくれた施設長はじめ職員の皆様に対し心より感謝申し上げます。



海外研修

むさしの保育園

主任保育士 野田 泉水

この度は、民間社会福祉施設職員等海外研修・調査に参加させて頂き、有難うございました。私は、保育現場を視察する児童班として十一名のメンバーと、デンマーク・ドイツに出発しました。ヨーロッパは、福祉の先進国と言われ全世界に注目されています。医療費の患者負担はなし、保育園から大学までの教育費の無償、障がい者に手厚い福祉という日本とは違う制度の下、福祉が成り立っています。また、女性の就業率も高く、子育てをしながら仕事しやすい環境にあるということを感じました。

初めにデンマークのロスキルデ市役所に行き、保育の取り組みについて話を聞きました。行政と施設が一体となり、保育に取り組み、利用者へのサービスを実施しています。保育園は、開始時間も早く、六時半から開園。登園してくる子どもは、保育園で朝食を食べます。一日の活動を終えると、五時半から六時には降園。

お昼寝をする時には、戸外でバギーに乗り寝ていました。日本のようにバイタルチェックを時間ごとに行うことは、ありませんでした。この事実を聞き、愕然としましたが、保育園だけではなく、家庭でも同じように育てられるようです。

特に関心を持って視察した施設は、デンマークの『森の保育園』とドイツの『障がい児統合保育園』です。森の保育園の拠点は市内にあります。森の保育園で森に出かけます。昼食とおやつを持参し、日戸外で過ごしていました。森ですので、大きな木にぶら下がったり、虫を捕まえたり、木の実を取ったりと、本当



に自由な環境で遊んでいました。時間になるとベルが鳴り、昼食の準備が始まります。シートを広げ、持参した昼食をみんなで食べたり、また、子どもたちがクッキングで作ったソーセージパンを食べたりと自然を満喫しながら過ごしていました。もちろん、帰りもバスに乗り、保護者の待つ市内の保育園に帰園していました。

一日中、何の制限もなく遊べるというところで、昼食の後は、午前の遊びの続きが出来ます。何よりも、時間を気にせず、遊びを選択できるということが魅力的でした。

ドイツの障がい児統合保育園では、健常児の中で共に生活する様子を見てきました。戸外活動をしていた時のことです。身体に障がいを持つ二歳の子どもがゆっくりと歩いていたので、何気なく手を差し伸べてしまいました。

すぐに、五歳くらいの女児が二人駆け寄り、その子どもを両脇を抱え、一緒に歩いていきました。先生もその姿を見てうなずき、私は自分の行動が間違っていたことに気づきました。大人が手を差し伸べることは、簡単ですが、子ども達の中で育ちあうということの大切さを、その時に改めて感じ、日々の保育の中での配慮が見えたように思いました。私も保育

の現場で、縦割り保育も経験し、異年齢の関わりを考えてきたつもりでしたが、どこを大切に保育していくかなければならないかを、もっともっと捉え、日々、働きかけていく必要があったのだと思いました。

二週間の期間でしたが、本当に保育の中身を考えさせられ、日本で実践できることは、限られると思いますが、少しでも取り入れられることは、導入していきたいと思っています。

丁寧な説明をしてくださった関係者の方々、児童班のメンバー、快く研修に参加させてくださった職員の皆様にご感謝いたします。ありがとうございました。



がん対策基本法について

昭島病院
外科部長

菅 蒲 洋大

がん対策基本法をご存知でしょうか。がんに関する国の方策は二十数年前から行われていました。第三次対がん十ヶ年総合戦略を経て二〇〇六年 がん対策基本法が策定され現在様々な政策が運用されています。

目的としては「がん対策を総合的計画的に推進する」とある。基本理念は①がんに対する研究の推進と研究成果の普及②がん医療の均てん化の促進③がん患者の意向の尊重(がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を充分に尊重して治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること)とされています。これはすなわち「国民・患者の視点」によるがん対策の転換といえます。

日本人の死亡原因は心疾患、脳血管障害、癌が主な三大原因とい

われています。一九八一年に脳血管障害を抜いてがんが日本人の死因のトップになりました。その後高齢化社会への移行とともにがんの罹患者は右肩上がりに上昇し現在年間三〇〇万人以上の方が罹患しているのが現状です。また二〇二五年には六五歳以上の人口は今より急激に上昇するいわゆる二〇二五年問題ともかわり、がん患者の上昇は必然であり重要な問題の一つといえます。

当院の所在地である昭島市は人口十一万二千九百三十八人(平成二七年十一月一日現在)六五歳以上の人口は約三万人と決して少なくないのが現状で、今後この数は上昇していくものと考えられます。この上昇に伴いがん患者も指数関数的に上昇することが考えられます。

このためがんの罹患患者の上昇は当院にとっても重要な問題とい



えると思われます。

当院におけるがん患者への対応としてはこれまで入院、手術、外来フォローが主なものでしたが、徐々に時代の波に押され、集学的治療として術前術後の化学療法治療導入、それに伴い患者さんのアメニティも考慮して外来化学療法室の設置、化学療法法の標準化、がん緩和ケアの推進、都の政策によるがん地域連携及びがん地域登録への参加、そして今年度からがんリハビリテーションの導入を開始し、がん対策基本法に沿う形でその活動範囲を徐々に広げています。

具体的には直接治療に関係する手術としては患者の侵襲を出来るだけ軽減できるよう腹腔鏡手術の導入をこれまで以上に促進すること、集学的治療の一環である化学療法(抗がん剤治療)に関しては、化学療法室の新設に伴い専任看護師の配置を行い、よりきめ細かいケアと治療環境の改善を推進しています。薬剤の調剤に関しては安全キャビネットの導入、化学療法室スタッフの安全確保等、医療スタッフの安全管理も行っています。また、今年度

よりリハビリスタッフと連携してがん患者の在宅復帰の支援とQOLの改善を目的として、がんリハビリテーションがスタートしました。がんリハビリテーションはこれまでの直接的な治療に関する施策と違い、より患者さんのケアというものに重きを置いているものであり、たとえ末期の状態であっても出来る限り生活の質を落とさずがん患者が生活していけるよう医療チームで支えるというこれまでにない新しい試みといえます。

まだまだ手探りな状態ではありますが、当院のがん患者への対応は、着実に質の向上が図られているといえます。

昭島市で今後も増加すると考えられるがん患者に対して今後よりきめ細やかな対応が行えるように院内の体制を向上させていきたいと思っています。

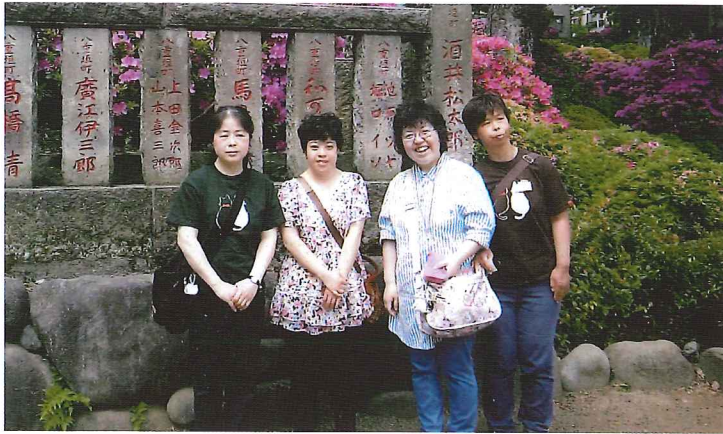


わたしの夢

さやま園

グループホーム「フレンズモエ」はさやま園をバックアップ施設として一九九四年に発足しました。

現在、知的障害者四名とサテライト一名の利用者です。全員さやま園の卒園生です。



私の夢は、去年の六月からパソコンを習っています。パソコンがもっと上手に出来るようになりたいと思います。それともう一つは、今、仕事場では人が足りないのです、仕事が、もっと手早くいろいろな仕事ができるようになります。

(木崎由紀子)



フレンズ・モエでのいろんな約束事をまもり、もっと楽しみたいです。お料理をがんばりたいです。世話人さんや仲間たちといることが嬉しいのです。私はフレンズ・モエに住み続けたいです。

(梅田 恵子)

私の夢は、モエで色々な料理をおぼえたいです。体重をもう少し減らしたいです。泣き虫なので強くなりたいです。気にならないで事を続けて行くことと、今までと同じでモエでの生活を楽しくしていきたいです。

(萩原 昌子)



前回の旅行企画担当の時は、東北の「ねぶた祭り」を計画しました。私が今度企画するのは四年後です。その時は、熊本県か四国にまだ行っていないので行きたいです。今から旅行パンフレットや、パソコンで調べるのが楽しみです。皆と一緒にいきたいです。

(青木 智恵)



私の夢は、平成二十七年九月十三日で勤続三十年になりました。平成二十八年の一月に会社から表彰されます。自分でもがんばってきたなと思います。これからも仕事を続けたいと思っています。最近体が痛い時もあります。一人暮らしなので、家事をやりながら仕事を続けたいなと思っています。

(佐藤 一恵)



わたしの夢

万世敬老園



(石田洋子)

ガールフレンドが欲しい (S・K)
 わしゃ、マイホームを買って、
 そこから働きに出たい (K・K)
 夢は、何もない、安心して死ぬ事
 です。 (O・T)
 お金が欲しい (I・I)
 酒を一杯飲みたい (Y・Y)



(鈴木 力)

パチンコが出る台がわかるように
 になりたい (K・S)
 絵描きになりたい (T・T)
 病気にならないようになりたい (N・M)
 身体の痛いところをなくしたい (M・S)
 競馬で大穴を当てたい (I・H)



(鈴木 力)

職員の子どもが元気である事 (K・T)
 健康でいたい (M・T)
 自由な生活をしたい (W・K)
 腰痛が治りますように (E・T)
 ご飯を食べて、寝る事 (Y・N)
 早く目が見えるようになりたい (I・R)



(機 松江)

いつまでも、元気でいたい (Y・N)
 おいしいものが食べたい (S・S)
 彼氏が欲しい (S・S)
 部屋を変えたい (M・Y)
 元気で楽しくちぎり絵をしたい (T・T)
 お刺身が食べたい (U・S)
 今まで食べた事のない物を食べて
 みたい (S・E)

わたしの夢

同援さくら保育園

サッカー選手になって、テレビでみんなに見てもらいたい。

(とじま あやと)

サッカー選手になってゴールしたい。

(ときた まさと)

水上レーサーになって、テレビで見てもらいたい。

(もりかわ ひかる)



サッカー選手になって、サンフレッチェ広島に入りたい。

(おばた つむぎ)

パティシエになって美味しいケーキを作りたい。

(つねよし まいこ)

仮面ライダーゴーストになって、悪者をやっつけたい。

(さいとう こうし)

ピアノの先生になって、生徒達を教えたい。

(はまぎし かりん)

野球選手になってホームランを打ちたい。

(かとう ゆうき)

消防士になって燃えている火を消したい。

(ときた あきと)

スケート選手になって、優勝カップをもらいたい。

(ながい かずは)

アイスクリーム屋さんになって、いっぱい買ってもらいたい。

(きんじょう ほたる)

ケーキ屋さんになって、誕生日の子に買ってもらいたい。

(たかの みゆ)

アイスクリーム屋さんを開いて、お薬アイスクリームを作って病気の人を助けてあげたい。

(うえの ゆみな)

バレーボール選手になって、ワールドカップに出たい。

(のざわ しどう)

忍者になっていっぱい修行したい。

(まつばら よしあき)

ケーキ屋さんになって、みんなに食べてほしい。

(さかはし そうた)

アイスクリーム屋さんになってすてきなアイスを作りたい。

(よこやま なつき)

お姫様になって町を歩きたい。

(さいとう のあ)

アイスクリーム屋さんになって、アイスを作りたい。

(たかの あやね)

レーサーになって優勝したい。

(さいとう ダニエル)

プリンセスになって踊りたい。

(よしい さゆ)

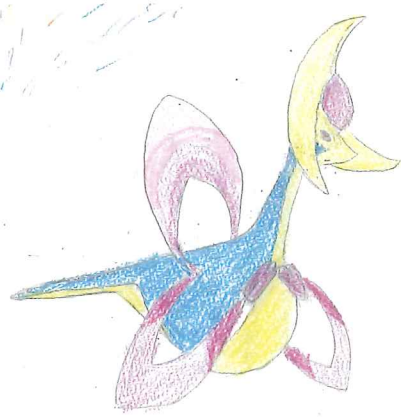


私の夢

双葉園

■M.H (小2・男子)

ぼくはサッカー選手になりたいです。理由はいまサッカークラブに入っていてサッカーをやったのしいからです。どこがたのしいかというとドリブルがたのしいし、サッカーがすきだからです。サッカーせんしゅになったらかわさきのチームに入りたいです。



■K.H (小5・男子)

僕の将来の夢は、漫画家になることです。なぜなら絵を描くのが好きだからです。そして、物語を創造するのが面白いからです。そのためには、日頃から絵や字を丁寧にかくことを努力していきたいと思っています。



■O.M (小5・女子)

私の将来の夢はパティシエになることです。なぜなら私は果物や生クリームが好きで特にイチゴが好きだからです。ケーキに果物のついている光景に見とれてしまいます。パティシエになったらみんなに「すごい」「おいしい」と言ってもらいたいです。

■M.M (中1・女子)

私の将来の夢は、児童福祉施設の職員になることです。子ども達にとつて、施設は生活においての親であり、兄や姉のような存在です。私は子どもが好きなので、この仕事に就いて、子ども達に色々教えて、立派な社会人になれるように手助けをしたいです。

■T.H (高3・女子)

私の夢はパティシエになる事です。理由は昔からお菓子作りが好きだからです。月に三回位クッキーやケーキなどを作っていて、みんなに食べてもらって「おいしい」と言われるとすごく嬉しいです。これからも色々なお菓子を作っていきたいです。

■S.K (小6・男子)

ぼくの夢は、車をつくる人と車を売る人です。なぜかというところ昔お父さんが、車をつくっているのを見てかっこいいと思ったから、ぼくもかっこいい仕事をしたかった。思ったから車関係の仕事に決めました。

全国児童養護施設協議会 施設長研究會秋田大会入選作品

題「たのしかったさるわたり」

K.K(年長・女児)

この絵は、本児が幼稚園の園庭で「さるわたり」を楽しんだ体験を描いたものです。

東京都の児童養護施設の幼児部門の代表作品として、全国児童養護施設長研究協議會秋田大会の絵画展に出品されました。



同援子ども学習室

ボランティアの声

同援子ども学習室は、特定非営利活動法人キッズドアの協力で学生をはじめ、多くのボランティアで取り組んでおります。子どもたちと相談しあい、通称「ラ・スク」と呼び合っています。

鈴木 泰造

全ての子どもは大きな可能性を持っていて、それを追求する権利があります。塾に通えない環境にある子どもたちでも、もちろんそれは同じです。彼らの前にある「壁」と戦うために、私たちは活動しています。もともと、その壁を乗り越えていくのは子どもたち自身であり、ボランティアにできるのはそのサポートをすることくらいかもしれない。しかし私は、そのサポートが彼らの人生を左右し得ると信じ、その重要さを感じながら活動しています。ラ・スク学習室は、「子どものために」という思いでつながった学生・社会人のボランティア、それを支援してくださる方々、そして何より学習室に来てくれる子どもたちの三者があって初めて成り立つものです。これから皆で、笑顔が飛び交う、あたたかい学習室を作っていきたいです。

伊藤 優希

学習室のボランティアとして活動している大学生の伊藤と申します。学習室は、フジホームをお借りして、学習支援の活動をさせていただいております。様々な理由で塾に通えないご家庭の子どもたちを対象に、大学生・社会人ボランティアがその子どもたちに対して勉強を教える活動を主にしております。私が思う学習室での感想は、二に「やりがい」、二に「楽しさ」です。企画・運営面でもやる気とアイデアがあれば、それが素早くメンバーと一緒に実行に移される「やりがい」。子



どもたちだけでなく、様々な大学生・社会人ボランティアとかかわれる「楽しさ」。この二点が学習室ラ・スクにはあります。ご興味を持たれた方は、ぜひ一緒に活動しましょう！

中根 三奈

「先生に会うの、いつもすごく楽しみ」そう言ってくれる生徒がいます。彼らの居場所になって、なおかつ将来への希望をしっかりと受け止めて、彼らの将来の選択の幅を広げられるような学習室になったらいな、と私はいつも思っているのですが、もしかしたら、こは私にとっても、大切な居場所になっているのかもしれない。

ラ・スクが発足したばかりの頃に比べて、よく笑うようになった子、自分の話をたくさんしてくれるようになった子、自分から意欲的に学習に臨むようになった子：生徒の成長を間近で見られることは私にとって大きな喜びです。自分を必要としてくれる子どもがいること、自分の働きかけの成果が目に見えてわかることは、私が学習支援ボランティアを続けたいと思う大きな理由です。

共同募金お礼 ニューフジホーム

ニューフジホームでは、今年度赤い羽根共同募金整備費・特別事業費配分金で、温冷配膳車二台を購入させて頂きました。高齢者の方々にとって、食事は大きな楽しみの一つです。介助が必要な高齢者の方々は、食事形態も様々です。できる限り経口で召し上がって頂けるよう、職員皆で工夫して、日々取組みを行っています。新しく頂いた配膳車は、以前の物と比べ、コンパクトながら立ち上がりも早く、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままでスムーズに提供することが可能となりました。モーター音も静かで、今後ますます活躍してくれることと思います。この場をかりて、赤い羽根募金事業にお礼を述べたいと思います。ありがとうございます。



ご 寄 付

◇大野武夫◇奥野和子◇小野澤知
治◇高橋暢子◇竹内捷郎◇名久井
佳治◇森田明◇森田美佐子◇昭島
市自治会連合会第四ブロック ブロッ
ク長 横田孝至◇昭島市自治会連
合会第四ブロック顧問 測上良子◇
昭島市自治会連合会第四ブロック
間正子◇昭島市民生委員 児童委
員協議会 会長 皆川貞治郎◇昭
島市老人クラブ中神仲よし会 会長
山田恒男◇あざみ会 代表 阿
部久子◇都営中神第二団地自治会
会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団
地自治会 会長 降矢新吉◇昭島
サンセルフ 高野裕志◇おしゃれの
店ウエノヤ◇かたぐるま 中堀稔雄
◇酒井屋製菓 杉山功定◇橋本工
務店 代表 橋本誠二◇水村肉店◇
(社福)村山苑 職員有志一同 代
表 杉山陽子◇(社福)東京リハビリ
協会 理事長 緑川清美◇(社福)
同胞互助会 理事長 蓮村幸兄◇
(海)老山◇(海)メグミ生花店 代表取
締役 浅野光憲◇(海)ラッコクリン
サービス◇昭島ガス(株) 代表取締役
社長 平畑文興◇(株)共伸インテリア
◇中尾畜産(株)◇日清医療食品(株)東
京支店 支店長 渡辺修◇ネオハ
ルト(株) 代表取締役 南浩二◇扶桑
建設(株) 代表取締役 星野宗保◇

(株)三ツ矢 代表取締役 中村暢克◇
(株)やまとモータース 取締役 石原
康司◇(株)和光電気 代表取締役
本多康利

後 援 会

◇伊藤彰浩◇大西陽◇宇都野友子
◇石川高子◇青木保之◇小野田和子
◇怡田利江◇浅川理恵◇内田祥二◇
へアパルおかもと◇川杉萬吉◇佐久
間美智子◇佐々木みつる◇鮫島恭江
◇篠原廣至◇高仲智子◇唯野信廣
◇田尻恵保◇高木基代乃◇中山孝
子◇南雲栄一◇福家謙介◇横島房子
◇山内悦◇昭島サンセルフ 高野裕
志◇大山町町会会長 松野榮仁◇(海)
いとう教材社◇おしゃれ洋品店 ウエ
ノヤ◇(海)老山◇昭島ガス(株)◇(株)コ



イヌマ◇(株)木の里工房木薫◇(株)共伸
インテリア◇クリエーティブカミヤ(株)
代表取締役 藤本隆平◇(株)ケイエ
ス機材◇(株)金祥堂紙販売◇川村工
務店(株)◇唐澤電気(株)◇(株)コスモス医
工◇(株)菊屋商店 代表取締役 宮
崎貞夫◇国立厨房サービス(株)◇昭和
の森エリアサービス(株)◇(株)桃源堂◇
田所青果(株) 代表取締役 田所金治
◇戸山商事(株)◇東京冷機工業(株)◇
田中青果店 田中潔◇(海)にんや杉田
商店代表取締役 杉田武◇日清医
療食品(株)東京支店◇ネオハルト(株)
長崎三丁目町会 会長 足立憲昭
◇(海)肉の太夫◇(株)ハーティーマネー
メント代表取締役 阿部博人◇(株)豊
明◇(海)浜長水産 代表取締役 林
長三郎◇(社福)村山苑 理事長
品川卓正◇マツダドライサービス◇(株)
森京介建築事務所 森実◇(株)ミート
ショップの鈴政◇雪印メグミルク下坪
牛乳販売店◇横田屋米店◇(株)安江
設計研究所 代表取締役 安江知
之◇吉村電気工事(株)◇(海)リハビリ
サービス◇(株)レクトン◇(株)LEOK◇
(株)和光電気

ご支援ありがとうございます。

(敬称略順不同)

※「同援だより」に名簿掲載希望欄へ
印を記入頂いた方のみ掲載
しております。

訃 報



相原 幸仁氏
享年六十一歳

病氣療養中のところ、平成
二十七年七月二十日に昭島病院
において逝去されました。

故人は、昭和五十四年十二月
に本会の青山母子寮(現母子生
活支援施設)職員として入職、
その後障害者支援施設・救護施
設・特別養護老人ホームと経験
されました。平成十一年四月か
ら特別養護老人ホームゆたか
苑、ニューフジホーム、救護施設昭
島荘の施設長を歴任され、平成
二十七年四月からは、養護老人
ホーム万世敬老園の施設長を務
められました。

入職されてから三十五年七ヶ
月の長期間に亘り本会の発展に
尽くされました。

ここに故人のご冥福をお祈り
申し上げますと共に、謹んでお
知らせいたします。



◆むさしの保育園◆

建て替え二年目の庭に、秋が来ました。

今年春には金柑がたくさんなりましたが、今秋は、ざくろ、柿がたわなに実りました。大きな実の甘い美味しい柿。

園児と収穫。かご一杯の柿に大喜び、秋の味を堪能しました。ざくろは色鮮やか。「宝石みたい」と、実を摘んで口に



いったとたん「すっぱい」と友達と顔を見合わせて思わぬ味に大笑いする姿も。また違った秋の味の発見に驚いたようでした。

さて、むさしの保育園は、地域のサポーター、社会福祉施設の方他と協働で、十月に「はじっこハロウィン」まつりを開催いたしました。仮装大会・プロの演奏会による音楽会・宝探しゲーム・模擬店が行われ、老若男女幅広い年齢の方が参加して下さいました。

園舎立替工事から始った地域の方との協働のお祭り。地域の方との連携を大切にしながら今後も取り組んでいきたいと思っています。

(森 記)

◆立川福祉作業所◆

立川福祉作業所では、平成二十三年度より、就労移行支援事業、就労継続支援B型事業、生活介護事業の三事業を開始致しました。ここでは、就労移行支援事業での取り組みをご紹介します。

今年度より、就労移行支援事業では、利用者の方がより自分らしく働くことを考えてもらえるように、新たな取り組みを始めました。一つ目は、月に二回程度の学習会を開催し、

利用者の方の強みや得意なこと、苦手なことを利用者の方と共に確認する場面を増やしました。二つ目は月の終わりに一ヶ月の自分を振り返っていただき、課題や目標を共有することを始めました。

学習会では、計算や漢字の書き取り、履歴書の書き方などの基礎学習やハローワーク立川から講師を招いて「働くことについて」の講義などを行いました。利用者の方の意識の変化があった取り組みは、他事業所の見学を数名の利用者の方と行い、見学内容を発表する場を設けたことです。見学に行った利用者の方の中で、挨拶が苦手とおっしゃっている方から「挨拶を意識します」との感想が出るなど、意識の変化が見られました。また、利用者の方が自分の目で見てきたもの、感じたものを他の利用者に発表することで、自信に繋がり相手に伝わるように話をするという意識が高まったように感じます。発表を聞いた利用者も相手の話を聞く姿勢を学ぶ場にもなりました。このような取り組みを行ったことによって、徐々に利用者自身の働く意欲やモチベーションが向上しました。また、日々の作業訓練では見られない利用者の方の様子を見ることが出来ました。

今後、利用者の方二人ひとりが自分らしく働くことを実現できるよう

同 援 俳 壇

昭島荘 道句会

運動会

応援太鼓風に乗る

加賀屋美知子

運動会

空にひびくよ応援歌

金田 榮子

団栗が

あちこちあるよりス君へ

河内 通子

幼き日

親子でいっぱい栗拾い

神 きぬゑ

運動会

必死に走った徒競走

堀 ふみ子



に、利用者の方の強みを見出し、また、本人の望む就労形態へ結び付けられるように、日々の支援に努めてまいりたいと考えています。

(山口 記)



◆ サンライズ万世 ◆

私たちサンライズ万世では、生活環境の変化で戸惑いや不安を抱えた方が、安心して生活出来るよう、子育てや仕事など生活全般について一緒に

考えるパートナーでありたいと考え、チームケアで日々個別の支援に努めております。

様々な支援方法の中でも、施設行事は利用者の笑顔で溢れる大切な支援と位置付けられます。中でも小学生以上を対象にした学童行事では「サマーキャンプ」、世帯を対象にした「東京デイズーランド」へのバス旅行は大人気です。

今回は、多くの行事の中から「リフレッシュ保育」についてご紹介させていただきます。

「リフレッシュ保育」は、年に数回、日曜日に未就学児童をお預かりします。目的は、日頃家事や仕事で忙しい母親の心身を休めていただくことです。最近の傾向は、小学生以上のお子さんと映画鑑賞やショッピングを楽しまれ過ごす方が増えているようです。お預かりした幼児さんの対応は、安全を第一に、ボランティアさんの協力を得てマンツーマンで対応します。

例えば、昭和記念公園で行う時は、すべり台、トランポリン、ブランコ、アスレチックなどの遊戯物や、ハンカチ落としなどゲームをして楽しめます。季節によつて楽しみ方は様々です。夏の例では、小さな池でビシヨビシヨ、泥だらけになって遊びました。普段できないことですから、子ども達はこの時とばかりにはしゃぎます。ハラハラする場面もありますが、日頃の様子を知っているからこそ一時です。雨天の時は、昭和郷保育園のホールをお借りして、ミニゲームや工作を楽しみました。

施設行事の良さは、年齢に関係なく楽しむ機会や、社会性を育む実践の場として、現在進行形のニーズに、タイムリーな提供ができる点にあります。皆様の笑顔で溢れる施設を目指し、これからも利用者本位の丁寧な対応を心掛けてまいります。

(川島 記)



万世敬老園 あぢさゐ旬会

冬うらら

飛行見事に飛び立てる

紅淡き

時雨かくして時雨かな

石垣の

間に咲きし野菊かな

太田 義子

起床後の

足元に来るそぞろ寒

青空の

野辺は野菊の盛りかな

庭木には

飛び交う小鳥見ていたり

散歩中

雲流れ来る時雨かな

月岡 久三

福

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方々が表彰されました。
おめでとうございます。

◎全国救護施設協議会会長表彰

昭島 荘

介護職員 綿貫 亮一

介護職員 引地 亘

◎東京都民間保育園協会

■永年勤続(二十年)表彰

同援はいじま保育園

開設準備室室長 阿部 英子

同援さくら保育園

栄養士 阿部 昌子

■永年勤続(十年)表彰

同援さくら保育園

保育士 荒野百合子

◎第六十四回東京都社会福祉大会

東京都社会福祉協議会会長感謝状

同援はいじま保育園

開設準備室室長 阿部 英子

同援さくら保育園

栄養士 阿部 昌子

資格取得の紹介

次の方々が資格取得しました。
日頃の業務に生かしご活躍を期待します。

【保育士】

むさしの保育園

保育助手 松永 知子

【介護支援専門員】

ゆたか苑

機能訓練指導員 小林 弘之

原町ホーム

介護職員 峰 真理子

昭島荘

介護職員 安延 正憲

お詫び

夏号で掲載いたしました資格取得記事に誤りがありました。ここに訂正してお詫びいたします。

さくらんぼ

生活支援員 日高 広大

【正】社会福祉士

【誤】介護福祉士

バザーのお礼

今年度も法人各施設では、それぞれ趣向を凝らし盛況にバザーを開催することが出来ました。ボランティアの皆様には一日お手伝い頂き、厚く御礼申し上げます。

寄せられました皆様方のご厚情に対しましては各施設で有効に活用させていただき、今後共地域に必要とされる施設を目指して参ります。
ありがとうございます。



雑感

二月十日から大相撲月場所が始まる。二十四日までの十五日間、両国国技館で力士たちの熱い死闘が続く。

そもそも私が相撲好きになったのは、小学生の頃、祖父母に連れられ観戦したことがきっかけではなかったかと。特別どの力士が好きという訳ではないが、年六場所の大相撲中継は欠かさず見ている。最近は外国人力士の台頭目覚しく、日本人力士の活躍がいまひとつなのが少々残念である。

現在、大相撲の力士は約七百人いると言われ、この内、給与が出るのは十両以上の関取だけ。つまり幕下以下の力士は基本無給である。このような仕組みは他のスポーツには見られない相撲独特のものである。上位力士の取組もさることながら、幕下力士の這い上がる真剣勝負が見られるのも相撲の魅力である。

今場所はどうな好取組があるか。そして誰が優勝するのか。国技館の熱い取組を期待したい。
(川畑 記)

―表紙の写真―

「地獄谷」

(荒木忠吉氏)

平成二十八年一月四日 発行

東京都新宿区原町三の八

電話 〇三(三三四)七二六一

社会福祉法人 東京都同胞援護会

発行者 牧野 洋一

印刷所 東京都同胞援護会事務局

東京都墨田区両国四一―八